

ニュージーランド金融政策（2019年5月）

利下げを決定、政策金利は過去最低の1.5%へ

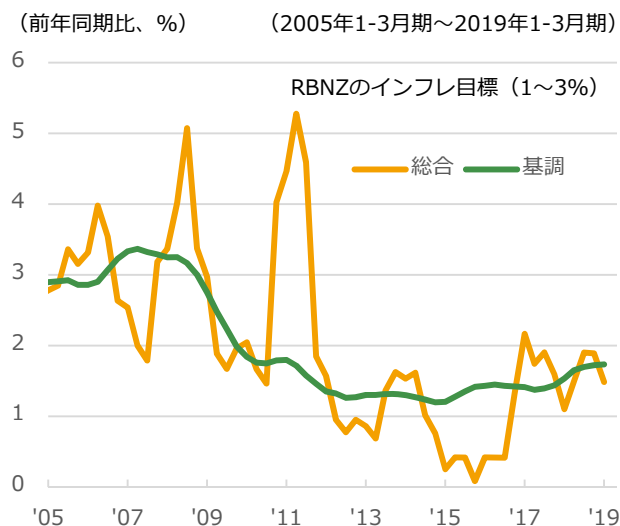
2019年5月8日

インフレ圧力の上昇は緩やか

2019年5月8日（現地、以下同じ）、RBNZ（ニュージーランド準備銀行）は政策金利を1.75%から1.5%へ引き下げることを決定しました。声明文によれば、2018年半ば以降、内外経済が減速しており、雇用情勢は現在の好調な状態から軟化することが予想され、その結果、インフレ圧力の上昇は緩やかとの見通しの下、利下げを決定したとしています。

RBNZは2016年11月の利下げ以降、政策金利を据え置いていましたが、前回2019年3月27日に政策金利を発表した際には、経済見通しに係るリスク・バランスは下方にシフトしたとし、金融政策の「次の一手」としてより可能性が高いのは利下げと明言していました。それを受けて、市場も利下げの織り込みを強めていただけに、RBNZの決定にそれほどサプライズはありません。緩和的な金融環境は内需の下支えとして働くことが期待され、3月下旬以降のニュージーランド・ドル安も落ち着くと見込まれます。本日公表の金融政策報告書によれば、RBNZは追加利下げの可能性を前提にしていますが、追加利下げが実施されるかどうかは、主要輸出国である中国とオーストラリアの経済動向が鍵を握ります。

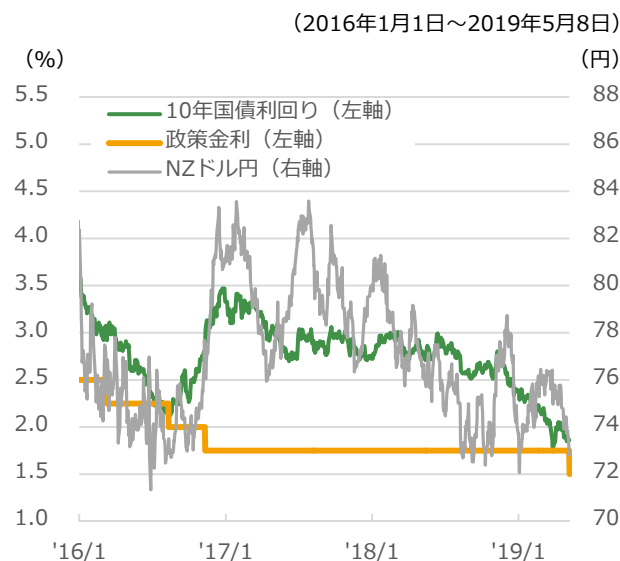
ニュージーランドの消費者物価指数



※基調とは、消費者物価指数を構成する品目のうち比較的価格変動が大きい品目を除外して計算したトリム平均値と、価格変動の大きい順に品目を並べた際、ウェイトを考慮した上で中央にあたる品目の価格上昇率を示した加重中央値から、RBNZが推計した値です。

(出所) RBNZ

ニュージーランドの金利と為替



※政策金利は決定日ベース
※10年国債利回りとNZドル円は5月7日までのデータ

(出所) ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。